

YOUTH MANNA

Grace
Community
2024
Be

Acts 2:42



彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。
使徒の働き 2章42節

2024/9/30(月)

イザヤ17章

17章では、バビロン、モアブに続いて、ダマスコへの宣告が語られている。

- 「その日」、ダマスコはどのようなことになると言われていたのだろうか？ (1-3節、9節) (7-8節)
- ダマスコがそのような状態になった原因は何だろうか？ (10節)

★私達は、ダマスコのようにではなく、救いの神、力の岩である方 (10節) を覚えよう。

→救いの神を覚える方法は色々あるよ。今日、どれか選んで、実際にやってみよう！

- 神の家族と交わる時間を持つ (家の教会の友達と遊ぶ)
- 1日のどこかで、静まってみことばに集中する時間を持つ
- お祈りの時間を持つ
- 賛美を聴く

2024/10/1(火)

イザヤ18章

クシュはイザヤの時代にエジプトを支配するほどの力を持った国だったよ。この箇所ではクシュの善悪は指摘されず、全てが神様の支配のもとにあるんだということが宣言されている。

人がどんなに大きなことを成すことがあっても、実が熟すると農夫がぶどうの剪定をするように、神様が選んだ時に、神様がご自身のみこころを成すということに心を留めよう。

神様よりも目の前の問題や悩みを大きく見てしまっていることはないかな？どんなものよりも神様は大きな方だということを知ろう！！

2024/10/2(水)

イザヤ19章

大国であったエジプトであっても、その栄えは持続しない。力の源泉であるナイル川も打たれ、頼りになるものも、救い出す者もない。

しかし、エジプトは自分たちの神々ではなく、本当の神を知るようになることが預言されている。当時のエジプトとアッシリアは世界の二大強国として互いに覇を争ってきた。この両国が悔い改め主に立ち返ることは、世界全体の平和を意味しているよ。

君の周りで神様の平和が必要なところはあるだろうか？小さくても大きくても、君の目に映るところに、そこにイエス様をお迎えして祈ろう！

2024/10/3(木)

イザヤ20章

●イザヤは神様に何をしろといわれたかな？v2

●もしも、神様から言われたらそれをする事ができるかな？

イザヤの時代の強いアッシリアに対抗できるのはエジプトだけだと考えられていたんだ。神様が繰り返し語られたのは、他の神々でも、諸国でもなく、神様にこそ頼り求めるよという事だよ。神様以上に頼りになるものは無いんだ。神様よりも頼りにしてしまっていることはないかな？神様に聞いて祈ってみよう！

2024/10/4(金)

イザヤ21章

8-10vを読もう！

●10vでイザヤは民に対し何を告げたと知っているかな？

●8-9vではバビロンの滅びが預言されている。イザヤの時代はアッシリア全盛期だったけど、バビロンはアッシリアを滅ぼし、イスラエルも滅ぼして捕囚とした。イスラエルは苦しめられるけど、そのバビロンも滅びることが前もって語られているんだ。

●苦しいことがあっても信じ続ける者の希望を聖書が語っているなら、今きみがすべきことは何か考えてみよう。

2024/10/5(土)

イザヤ22章

ユダの国が外から攻撃されて、絶体絶命のピンチだった時の人々の様子が記されている。

その理由には、人々が危険な状況になっても神様に頼ることをせず、逆に諦めて遊び暮らす姿にあった。でも、神様はそれで終わりにはしない。神様の助けがあるかぎり、決して全てが終わることはないんだ。それを信じ続ける信仰を神様は励ましてくださっている。私たちは間違っても、神様から心が離れてしまうこともあるけれど、神様はずっと赦しを願うのを待っていてくれる。造り変えられる心をもって神様のもとに留まろう。

2024/10/6(日)

イザヤ23章

ツロはかつて繁栄した都市でしたが、アッシリアに敗れ、その力を失いました。イザヤの預言は、繁栄は持続せず、すべては神様から与えられたものだを教えています。私たちは自分たちが手にしている繁栄は神様が与えてくださったものであることを心に刻み、神様に深く感謝し、神様のみこころに従って使うべきです。また、脅威を軽視せず、常に神様に頼ることが大切です。

考えようあなたが手にしている繁栄はどこから来ていて、どう使うべきかを考えましょう。